

センターからの情報発信

学術情報処理センター 技術補佐員
吉賀 夏子
natsukoy@cc.saga-u.ac.jp

【要旨】

センターでは様々な業務情報やアナウンス、設備の利用法などをウェブサイト上で公開しています。特にセンターの業務内容の公開と連絡事項の速やかな公開に力をいれています。また日々蓄積していくこれらのデータをサーバ上のデータベースに登録し、利用者が正しい情報をすばやく利用できるようにしています。

今回はセンター公式サイト

<http://www.cc.saga-u.ac.jp/>の主なコンテンツと具体的な利用法について、サイトを作成する上で工夫した点、これからの課題についての3点について述べようと思います。

何かわからないことがある場合は、タイトル下の緊急連絡、問い合わせの多いネットワーク接続方法や申請書類提出、開館日はメニュー中央の2つのカラム(図2 と)にありますので、まずそこを調べてみてください。

1. 主なコンテンツの紹介と具体的な利用法

【センター公式サイトのご紹介】

公式サイトは6つのセクションに大

きく分かれています。(図1)

1. 基本情報(図2)

所在地、沿革、業務内容、委員会など基本的な情報と業務日誌、自己点検評価の一般公開

2. 利用案内(図2)

各種申請手続き、設備の利用法、サイト内データ検索、ネットワークへの接続方法、ウェブページ公開方法などの説明

3. お知らせ(図2)

利用のマナー、業務紹介(トピックス) 開館および講義、イベントの日程表、センターニュースおよび広報のバックナンバー配布など

4. ニュース(図2)

サイトに追加された情報を表示。先頭の数字をクリックするとそれぞれのタイトルに関する詳細(図1 にジャンプ)

5. リンク集(図2)

センター関連施設のサイトへのリンク

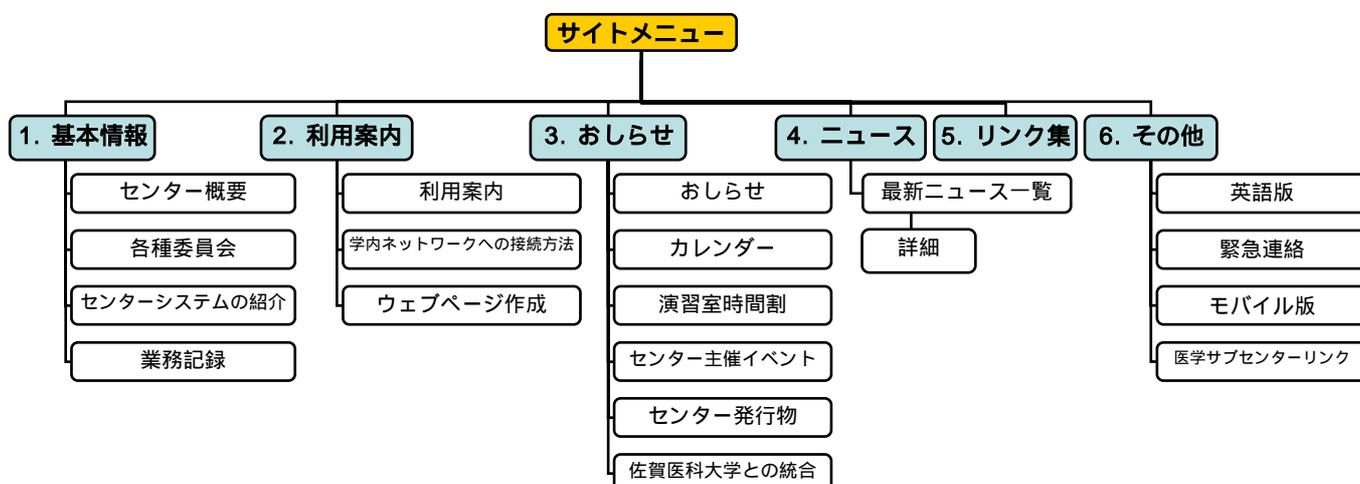


図1 サイトの構造

佐賀大学学術情報処理センター - Netscape

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ジャンプ(G) ブックマーク(B) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

佐賀大学学術情報処理センター

佐賀大学学術情報処理センター
Saga University Computer and Network Center

MOBILE ENGLISH Version

12月25日(木)オンラインシラバスシステム更新停止(12/19)
SINET通信障害の障害(現在発生していません)(12/18)
九大の電源設備改修工事に伴ってネットワークの停止(12/10)

Menu (講義キャンパス改修サブセンター稼働案内はこちら)

センター概要	利用案内	お知らせ	最新ニュース一覧
沿革 センターの目的・業務内容 規程類 スタッフ紹介 センター連絡先/所在地 建物見取り図 医学サブセンター 著作権	学術センター利用案内 ヘルプセンター (よくある質問集) センターウェブ・データ検索: 無線LAN パスワードの変更 サービス中のサーバー一覧 教員の方へ: 演習室利用 利用講習会 申請書類 ソフトウェアの貸出 StarSuite カラーコピーの利用について PDFファイルの読み方 SCSIについて 学内ネットワークへの接続方法 学内ネットワークへの接続方法 ---MACアドレスの調べ方 SSHでの接続方法 PPP接続方法 ウェブページ作成 利用者用WWWサーバ 利用者用WWWサーバ(外部公開用)	※センターからのお知らせ※ ◎センター内での盗難に注意してください ◎パスワードの管理とその重要性について トピックス(現在の業務紹介) →遠隔シンポジウム 2008-12-04 カレンダー 12月までのカレンダー (閉路時間) 1-3月のカレンダー 演習室時間割 演習室授業時間割 [平成16年度演習室授業時間割 予定---前期-後期] 演習室PC稼働状況 センター主催イベント センター主催特別講演会 セミナーのお知らせ センター発行物 センターニュース センター広報 佐賀医科大学との統合 佐賀大学と佐賀医科大学の統合 に係わる準備状況	最新ニュース一覧 1. 1-3月カレンダーを追加 (12/22) 2. Maple9が研究用サーバ/Soci で利用可能 (12/16) 3. センターニュースNo.31追加 (12/10) 4. 学術情報処理センター運営・ 運用委員会委員名簿追加 (11/11) 5. センター日誌10月分追加 (11/10) 6. センター利用案内とヘルプセ ンターのページ更新 (11/7) 7. ネットワーク構成図を更新 (11/7) 8. センターニュースNo.28追加 (11/7) 9. 新入・卒業エンジニア「学術セ ンターウェブ・データ検索」の試 験運用を開始 (11/6) 10. グラフ作成ツールmeraphi追 加 (10/28) 過去のお知らせ一覧

佐賀大学 公式ページ

ウェブメール

電子図書館「とんぼの囀」
—シラバスのページ

リンク集

WebClass 情報処理自習

最新ニュース詳細

1. 年未年始の間控スケジュールを更新した1-3月のカレンダーを追加しました。(2008-12-22)



図2 センター公式サイトトップページ外観

6. その他

モバイル（携帯電話）用サイト（図2）

<http://www.cc.saga-u.ac.jp/m/>

モバイル版のセンターサイトとは、インターネットを表示できる携帯電話用に表示をシンプルにしたサイトで、主にメインセンター大・中・小演習室およびロビーに設置しているPC端末の空席状況と緊急連絡をリアルタイムで表示しています。PC端末の空席状況は授業の有無、休館日も併せて表示しますので来館時に是非ご利用ください。

英語版（図2）

基本的な利用法を英訳しています。

佐賀大学には世界各国から留学生が訪れていますが、インターネットは母国をつなぐ重要なコミュニケーションツールになっています。PC端末の利用やネット接続に関する情報を中心に掲載しています。

緊急連絡（図2）

ネットワークの障害、停電など重要かつ緊急のお知らせを表示します。モバイル版でも参照できます。

以上の項目は学内と学外で表示内容を変えているので多少異なります。また、トップページはサイトマップも兼ねています。

【具体的な利用法】

サイトで知りたい（と思われる）事項を具体例を挙げながら説明します。

1. 自分のパソコンを大学にもってきてインターネットに接続し、学業に就職活動に存分に利用したい。

佐賀大学の全教職員および学生は、本学のキャンパス情報ネットワークに接続してインターネットを利用できます。つまり、電子メールを送ったりホームページを閲覧したりすることができます。図2の「学情センター利用案内」にネットワークに接続する方法がリストされています。共通して必要なものは、

- 1) 利用者アカウント
- 2) ネットワーク接続機器

以上2点です。

1) 利用者アカウント（＝本学ネットワークを利

用するためのユーザIDとパスワード）

まず本学での利用者アカウントをセンターで取得してください。取得方法は図2「学情センター利用案内」の「ユーザIDとパスワードを取得するにはどうしたらいいですか？」を参照してください。

2) ネットワーク接続機器

大学に備え付けのパソコンを使う場合は1)の利用者アカウントをパソコンの画面に入力すればインターネットが使えます。図書館や講義室で自分のパソコンをインターネットに接続したい場合は、パソコンのほかにネットワーク接続機器が必要になります。図2「学情センター利用案内」の「学内教育用LANの利用方法」に詳しい説明が載っています。接続機器については、有線LANの他、LANケーブルが不要な無線LANも数千円程度のIEEE802.11b無線LANカードを自前で揃えてもらえば利用できます。そのほかダイヤルアップ（PPP）接続で自宅から電話料金のみで本学のサーバに接続することもできます。

各学部・研究施設のネットワークに接続する際は、自分が所属する部署の管理者に新たに使用するパソコンのIPアドレスをセンターから取得してもらいます。センターにはそのための申請書類が用意されています。図2「利用案内」の「申請書類」のページから直接PDFファイルをダウンロードして印刷し、必要事項を書いた状態でセンター事務室に送っていただくこともできます。

2. パスワードを忘れてしまった、または変更したい。

ネットワークに接続するためのパスワードは銀行の暗証番号同様に個人で厳重に管理する必要があります。パスワードが他人に漏れた場合、個人のプライベート事項が公になったり、犯罪に利用されたりする可能性があります。

パスワードを忘れてしまった場合は、本人が身分証明書または学生証を事務室に持参してパスワード初期化の手続きをしてください。手続き中は一週間本学ネットワークが使えなくなりますのでご注意ください。

初期パスワードから自分で決めたパスワードにしたい、または安全のため新しいパスワードに

変更したい場合は、図2 「利用案内」の「パスワードの変更」

(<https://intauth1.edu.cc.saga-u.ac.jp/>)で学内からパスワードを変更できますのでご利用ください。

3. 大学に来た電子メールをいつでもどこでも読めるようにしたい。

佐賀大学のアカウントにきたメールを読むには、専用のメールソフトを使う以外にもいくつか方法があります。もっとも簡単な方法は、ウェブブラウザで図2 の「ウェブメール」のページにアクセスすることです。この方法であれば、出張先や自宅からでも直接メールを読み書きできます。海外でもインターネットに接続できて、日本語が表示できるブラウザがあれば、少なくともメールを読むことができます。(日本語のメールを書き送るには、使用しているパソコンに日本語を入力できる機能が必要です。)

そのほかメールを転送させる方法もあります。興味のある方は図2 「ヘルプセンター」 電子メール 「大学のメールアカウントにきたメールを転送させたいのですがどうすればいいですか？」を参照してください。

4. コンピュータウィルスに対処するソフトウェアなどを導入したいが、校費で購入したパソコン全てにインストールするのは経済的に負担があり躊躇している。

本学のネットワークを利用する教職員にぜひ一読していただきたいページが、図2 の「ソフトウェアの貸出」です。センターでは利用価値が高いソフトを大学単位で購入し、佐賀大学の教職員に対して無償で提供しています。その中にコンピュータウィルス対策ソフトウェアが含まれています。また、強力な「オフィス」統合ツールや演算ソフトも貸し出していますので制限事項をご確認の上、是非ご利用ください。

5. 試験シーズンが到来し、センター演習室のPCでレポートを作成したいが、満席や授業中で無駄足を踏みたくない。

演習室PCの利用状況は図2 「演習室時間割」にある「演習室PC稼動状況」で確認できますが、携帯電話でモバイル版サイトにアクセスしリアルタイムに確認することもできます(図3)。

もちろん鍋島キャンパスの教職員・学生も本庄キャンパスのネットワークを利用することができますので、何らかの状況で鍋島キャンパスの端末が利用できなくても本庄キャンパスで演習室PCを利用したり自分のノートパソコンを教育用ネットワークに接続したりすることができます。



図3 モバイル版で演習室PCの利用状況を確認

6. 研究室でホームページを作って研究内容を学内外にアピールしたい。

この場合、わざわざプロバイダを探したり自前でサーバを用意したりする必要はありません。テキストとちょっとした画像を載せる程度のウェブサイト(=ホームページ)を作るためだけにウェブサーバを開設するのは、大変な労力と技術が必要になるのでお勧めできません。本学でも過去にサーバの管理を怠ったため、サーバ上のデータを改ざんまたは消去された事例があります。したがって一般的に一番手取り早くウェブサイトを公開するには、図2 の「ウェブページ作成」サービスを利用することです。このサービスには学内のみで公開できるものと学外で公開できるものがありますが、教職員であれば「利用者用WWWサーバ(外部公開用)」が利用できます。

7. センター公式サイト内にある情報(設備の利用法、ニュース、業務内容など)を検索したい。



本学でのネットワーク接続方法など具体的な利用について調べたい場合は、図2 「利用案内」の「学情センター利用案内」か「ヘルプセンター(よくある質問集)」にリストされていないか確認してください。

学内から本サイトに接続した場合は、図2 の「利用案内」で「センターウェブ・データ検索」

というリンクと検索窓が表示され、センター内の情報が検索できるようになっています。

まず思いついた「キーワード」をいくつか検索窓に入力して検索ボタンを押してください。検索結果があればセンターウェブ・データ検索のページで検索結果が表示されます。

また、データ検索のページではヘルプセンターの相談内容によって質問カテゴリが分けられていますので、カテゴリ毎に検索できます。さらに「センター相談質問キーワード・トップ20」で検索したい語句に近い単語があれば、そのリンクをクリックするだけでセンターサイト内の全データを一度に検索することもできます。「センターサイト・データベース検索」の仕組みについては「2. サイトを作成する上で工夫した点」の「ひとつの情報を使いまわす」を参照してください。2004年1月の時点では試験運用中のため学内端末でのみ利用できます。

8. センターの所在地、開館時間を確認したい。

図2 の「センター概要」にセンターの連絡先および所在地が載っています。メインセンター(本庄キャンパス) サブセンター(鍋島キャンパス) 地図および市営バスなどの交通手段もあわせてご確認ください。また、図2 の「カレンダー」に開館スケジュールが3か月分載っています。

9. 学内ネットワークや演習室PCについて、その構成や利用法を詳しく知りたい。

図2 の「センターシステム紹介」に本学の情報処理システムの概要が網羅されています。このシステムにより演習室内PCだけでなく、学内でネットワークに接続されている登録PCの動きを管理し、不正なアクセスやコンピュータウィルスの蔓延を防止しています。また、演習室で利用できるソフトウェアについても「ソフトウェア一覧」(<http://www.cc.saga-u.ac.jp/system/intro/software.htm>)に記載されており、プログラミング・科学計算、画像エディタ、ワードプロセッサ、表計算、データベース、プレゼンテーションなど多岐にわたっています。

10. センター職員はどんな仕事をしているか、またきちんと業務をしているかチェックしておきたい。

図2 の「業務記録」にセンター業務の概要を一般公開しています。年に一度の自己点検評価はPDFファイルにまとめられています。また、月々の具体的な業務は「センター日誌」のページに公開しています。

図2 の「おしらせ」にある「トピックス」には最近の業務紹介が載っており、業務の具体的なレポートを読むことができます。

2. サイトを作成する上で工夫した点

センターウェブの作成にあたっては、蓄積する情報を速く正確に、そして簡単に発信すること、学内外の利用者が知りたい情報をすぐに取り出せるようにすることの2点に重点を置いています。

そのため、ウェブデザインはシンプルで軽く、様々なブラウザで確実に表示できるようにしています。特にブラウザに依存するJavaScriptは表示できないと困る部分には使わないようにしました。また画像やボタン、フォント等の外観を統一し、ファイルサイズの小さいものを利用しています。

また、学外と学内で表示する内容やリンクが変わるのでサーバサイドスクリプト言語「PHP」でユーザにとって unnecessary な表示をしないように制御しています。また、ニュースや利用法などのデータはデータベースソフトウェア「PostgreSQL」に蓄え、PHPと連携して利用しています。この方法は情報の管理と検索エンジンに活用されています。

ひとつの情報を使いまわす

ヘルプセンターやニュースの管理は、ウェブページに直接書き込む方式を取っていません。登録日時、タイトル、詳細などいくつか決まった項目を作り、センター職員の誰でもが管理用ウェブページでデータを登録できるようにしています。この方法でサイト管理が定型化され、より簡単に大量のデータを管理できるようになりました。そして日々蓄積する情報から問題点や要望を抽出してデータを分析できるようになりました。

センター相談とサイト内検索機能の連携

1階ロビーではセンター相談員が演習室内のトラブルや質問に対応しています。相談内容はウェブ上からデータベースに直接登録しています。ここで蓄積した相談からどんな項目が多いか調べ、データベース検索のページでキーワードを自動的に生成する仕組みをつくっています。

センターサイトの内容はウェブページに直接書かれているもの（静的なデータ）と、データベースから必要なデータを読み出して自動的に表示しているもの（動的なデータ）があります。（図4）

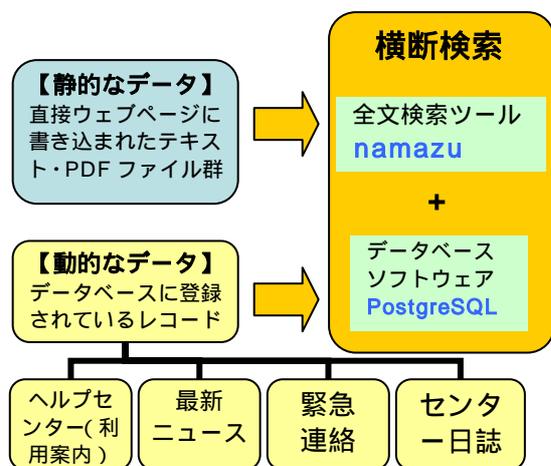


図4 データベースで検索する範囲

通常Google等の検索エンジンはウェブページ上のテキストを抽出して検索用データを集めています。しかし動的なデータを表示するページでは、検索エンジンがデータベース呼び出しスクリプトを実行できないため、検索用データを集めることができません。そこでサイト内の内容を利用者が検索するには「センターサイト・データベース検索」を使う必要があります。

例えば、図2 「ヘルプセンター」の質問リストはセンター相談に寄せられた内容をもとに作られています。具体的には、まずセンター相談で集まったデータから、どんな質問が多いのか、またどんなキーワードがよくでるかなどを、自動スクリプトで調べます。（表1）

次に図2 「センターサイト・データベース検索」の「センター相談・キーワードトップ20」で、それぞれのキーワードから全てのデータベースとウェブページ上の語句を同時に検索（図4「横断検索」）できるリンクを自動的に作成します。こうすることで専門的な用語が多く、適切なキ

ーワードを入力しづらい場合でもクリックするだけで検索ができるようになりました。この仕組みは現在学内端末のみで試験的に実施しています。

出現回数	キーワード	発音
218	メール	メール
196	ファイル	ファイル
189	印刷	インサツ
170	設定	セッテイ
160	パスワード	パスワード
142	ログイン	ログイン
137	終了	シュウリョウ
112	フリーズ	フリーズ
99	送信	ソウシン
89	変更	ヘンコウ
77	Netscape	ネットスケープ
76	破損	ハソン
69	Zドライブ	ゼットドライブ
67	Winbiff	ウィンビフ
64	削除	サクジョ
63	再起動	サイキドウ
62	容量	ヨウリョウ
60	ログオフ	ログオフ
57	保存	ホゾン
57	ジョブ	ジョブ

表1 センター相談記録簿から自動生成した頻出キーワードの例

情報管理の一元化

情報は一度データベースに書き込めばそのデータを使うページは全て自動的に更新されるので、さまざまな媒体で統一されたデータを表示することができるようになりました。図5では例として緊急連絡を管理者用のウェブページから登録した場合を挙げています。管理者が一度データを登録すると、利用者は様々な表示場所（図2、携帯電話用ウェブサイト、センターサイト・データ検索のページ等）を通して同じ情報を閲覧し、検索できるようになります。

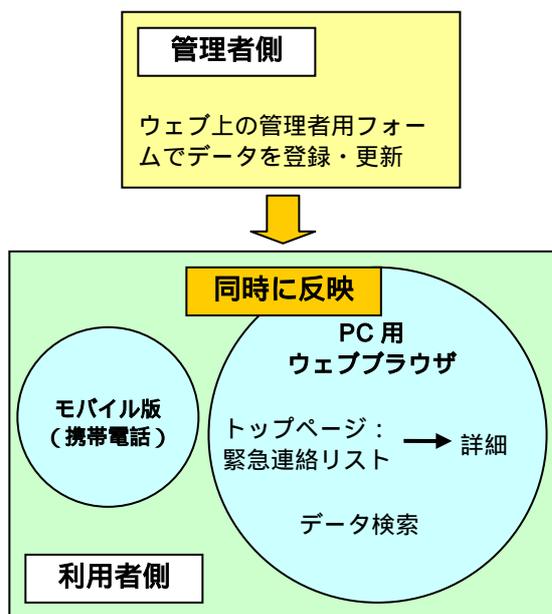


図 5 緊急連絡のデータを登録した時のデータの流れ

検索窓やお知らせでの項目表示

図2 「利用案内」や「おしらせ」の枠（センターからのお願い）にはちょっとした仕掛けがあります。センターのホームページを開いたときに、検索窓に「携帯電話」「電子メール」「IPv6」等の注目キーワードがランダムに表示されますので、広告バナーのように「興味があれば」クリックしてみることができます。同様に、おしらせの項目は全部ホームページに載せることができないので、ランダムに2項目ずつタイトルを表示させて省スペース化を図っています。

3. これからの課題

初心者にも使いやすいサイト構造

現在のトップページは、サイトマップを兼ねたスタイルでトップページから全てのページにアクセスできるようにしています。しかし初めて本サイトを訪れる人は余りにも項目が多すぎてどこから読めばいいのかわからないことがあります。現在初めてアクセスした方のための、利用案内を主体としたガイド用ページを別途用意することを考えています。

検索エンジンの改善

検索エンジンの試験運用を始めてからいろいろと問題点が明らかになりました。例えば本サイトの全文検索をした場合、結果がたくさん出過ぎたり少なすぎたりすることがよくあります。また、特定のウェブページに対する表示の制御が不十分な箇所があります。今後は検索結果があった場合に表示される「アンケート」の結果などを参考にスクリプトを改良していく予定です。ですから些細なことで構いませんので是非アンケートに記入してください。

業務の効率化

センターは演習室PC端末のディスクレスシステムによる管理、Opengateや統合認証などを利用したネットワークの整備、学内の様々なデータベースを統合した電子図書館など様々なインターネットに関わるサービスの構築を手がけています。しかしこれらの業務に対する要求は高度になり職員の負担は年々大きくなっています。したがってセンターの業務を簡便化し、いかに効率よく業務をこなす助けになるかがセンターサイトを管理する上でのポイントになります。これからも各種サービスを学内外に広めるためにセンターウェブサイトを通して情報を利用者に伝える効率的な方法を模索していきたいと思っています。